

# 日本小児外科学会 令和4年度第6回定例理事会

日時：令和5年5月31日（水）11:00～14:30

会場：大阪国際会議場 8階 会議室 801-802

出席者：奥山宏臣（理事長・会長）、田尻達郎（理事・次期会長）、小野 滋（副理事長）、  
石橋広樹、浮山越史、内田広夫、大植孝治、田中 潔、淵本康史（以上理事）、黒田達夫、  
山高篤行（以上監事）、照井慶太（庶務委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、  
神山雅史（庶務委員）、上原秀一郎（財務会計委員長）、柴田晶子、仁田尾慶太（以上事務局）

13:00～14:00

木下義晶（施設認定委員会委員長）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、  
古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）

欠席者：米田光宏（理事）、浦尾正彦（財務会計副委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第6回定例理事会の議事録署名人は、大植 孝治理事・内田 広夫理事とした。
2. 令和4年度第5回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

3. 審議事項

1)第60回学術集会について（奥山会長）

奥山会長より、学術集会開催にあたって挨拶が述べられた。

会期：令和5年6月1日（木）～3日（土）

会場：大阪国際会議場

テーマ：All is well!～次世代へのエール～

2)第61回学術集会について（田尻次期会長）

奥山会長より資料に基づき、プログラム等進捗状況が報告され、承認された。また、ライブ配信、アーカイブ配信について意見交換が行われた。

会期：令和6年5月29日（水）～31日（金）

会場：ヒルトン福岡シーホーク

テーマ：真のQOL向上を目指して

3)第39回秋季シンポジウムについて（臼井秋季シンポジウム会長）

臼井秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。ライブ配信について意見交換が行われた。

日時：令和5年10月28日（土）

会場：九州大学百年講堂

テーマ：小児外科領域における感染症対策

4)第40回秋季シンポジウムについて（田中次期秋季シンポジウム会長）

田中次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和6年10月26日（土）

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

5)第 41 回秋季シンポジウムについて (大植次々期秋季シンポジウム会長)

大植次々期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 7 年 11 月 1 日 (土)

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

6)評議員会・総会進行手順について

照井庶務委員長より、評議員会・総会進行手順について説明された。

7)次期役員選任について

照井庶務委員長より、立候補状況につき報告があり了承された。

配布資料の当選結果の記載内容に一部修正を加えることが確認された。

8)各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会 (照井委員長)

照井委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(2) 財務会計委員会 (上原委員長)

上原委員長より、令和 4 年度収支決算報告、令和 5 年度収支予算案につき説明があり、質疑応答の後、承認された。

(3) 専門医制度委員会 (専門医制度各委員長)

木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より、以下の点について報告された。

- ・施設認定に関して、外科系サブスペシャルティ領域専門医制度との関連により、ペンディングの状況が続いていることが報告された。
- ・専門医認定に関して、外科専門医との連動更新について専門医機構が消極的であり、ペンディングの状況が続いていることが報告された。
- ・専門医機構の専門医制度のスタートが遅れていることにより、筆記試験の受験のタイミングに関して受験者に困惑を招いていることが報告された。対処としては、昨年と同様のアナウンスを再度行うことを、専門医認定委員会で審議することとした。
- ・症例のカウントのロジックの誤りの修正を行ったことが報告された。

(4) 機関誌委員会 (大植担当理事)

大植担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・JSPS 学術集会最優秀論文賞 (JSPS prize) の本年度 (2023 年、第 60 回学術集会) 以下の 2 論文の受賞が推薦され、承認された。また、Open Access の権利は文田先生の論文とすることにした。

第一位 Takashi Fumita : Department of Pediatric Surgery, Chiba University Graduate School of Medicine. Surgical outcomes of very-early-onset ulcerative colitis: retrospective comparative study with older pediatric patients

第二位 Masakazu Murakami : Department of Pediatric Surgery, Research Field in Medical and Health Sciences, Medical and Dental Area, Research and Education Assembly, Kagoshima University. How many cases do instructor class pediatric surgeons need to experience to achieve

## autonomy in performing advanced endoscopic surgery? - A nationwide survey to establish an ideal curriculum for pediatric endoscopic surgery in Japan

### (5) 国際・広報委員会 (淵本担当理事)

淵本担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

### (6) 保険診療委員会 (浮山担当理事)

浮山担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

### (7) 教育委員会 (内田担当理事)

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

- ・小児外科学会 PR ビデオの利用規定案と運用予定について報告され、承認された。
- ・第1回小児外科サマースクール実施概要について報告され、承認された。第2回の開催検討に当たっては、第1回の実施成果を見るとともに、学生を対象とする他の企画の可能性も含めて検討することとした。

### (8) 悪性腫瘍委員会 (大植担当理事)

大植担当理事より資料に基づき、過去のデータ類の整理・廃棄の必要性について報告され、次期担当理事のもとで審議することとした。

### (9) 学術・先進医療検討委員会 (米田担当理事)

米田担当理事欠席のため、提出された資料が確認され、承認された。

- ・全国アンケート調査「女性小児外科医のキャリア満足度とバーンアウト」による当学会女性会員へのアンケート依頼に関して、学会から調査者へ提示していた条件が受け入れられたことが報告され、当該アンケートの実施について承認された。

### (10) 倫理・医療安全管理委員会 (石橋担当理事)

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

### (11) データベース委員会 (田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・2023年度 NCD データ (小児外科領域) 後ろ向き研究申請について、応募がなかったことが報告された。応募がなかった場合の前年度応募課題再検討については、次期委員会で引き続き審議することとされた。
- ・2020年度 NCD データ (小児外科領域) 承認研究 (照井慶太先生) について、論文ドラフトの修正状況が報告された。
- ・令和5年度第1回 NCD 臨床研究推進委員会での議事について報告された。

### (12) 小児救急検討委員会 (田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・門田班の研究について、研究計画の立案状況が報告された。
- ・2023年5月5日の能登沖地震に際して日本小児外科学会内に災害対策本部が立ち上げられたこと、現状、被害報告および支援依頼は寄せられていないことが報告された。
- ・第60回日本小児外科学会学術集会での2件の学会企画について報告された。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より、ハラスメントに関する研究結果に関して、論文化はせず、当学会 HP に掲載する方針であることが報告され、承認された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、第 60 回学術集会の演題応募における倫理審査の施行結果が報告された。この結果を機関誌に掲載することで査読者への啓発につなげたいという委員会の意向については、見送ることとし、会員へのメール配信などにより周知していくことが承認された。

(17) NCD 連絡委員会（渕本担当理事）

渕本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・2022 年度 Audit に関して、悉皆性 100%、正確性 95%との結果が報告された。検討項目として、調査症例数、対象施設と調査員の選定、調査員のインセンティブの問題が上がっていることが報告され、委員会で継続審議することが承認された。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事欠席のため、提出された資料が確認された。

- ・小児外科診療に関連するガイドラインの審査の実施状況について報告された。
- ・学会主導ガイドラインの作成・協力の作業状況について報告された。
- ・学会ホームページに掲載のガイドライン集の更新スケジュールについて報告された。
- ・第 123 回日本外科学会定期学術集会（2023 年 4 月）サージカルフォーラムにおいて、演題「希少小児外科疾患診療ガイドラインの効能・限界とその先について」を発表したことが報告された。

(19) 利益相反委員会（奥山理事長代行）

奥山理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(21) ロボット支援手術レギュレーション検討・委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、内視鏡外科学会との調整に関して、委員会で検討中であることが報告された。

(22) 総合調整委員会（小野委員長）

小野委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(23) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

(24) 四者協関連（奥山理事長）

田中理事より資料に基づき、四者協として市民へ向けた活動が開始し、令和 4 年度第 1 回発達障害へ

の対応委員会が開催されたことが報告された。

(25) 選挙管理委員会（照井庶務委員長）

照井庶務委員長より、今回特に報告事項がない旨述べられた。

9) 日本小児血液がん学会と連名で中心静脈ルート用のカテーテル供給に関する要望書を提出することについて（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、日本小児血液がん学会と連名で「皮下トンネル型中心静脈カテーテル（プロビアックカテーテルおよびヒックマンカテーテル）の安定供給に係る要望書」をメディコンと厚生労働省に宛てて提出することについて報告され、承認された。

10) ロボット支援下手術のプロクター認定について（奥山理事長）

日本内視鏡外科学会ホームページに当学会認定プロクターのリストの掲載を依頼することが確認された。

内田理事より、資料に基づき田井中 貴久先生から認定申請があり、日本小児内視鏡外科・手術手技研究会 小児外科ロボット支援下手術検討委員会で審査した結果、承認されたことが報告され、承認された。

#### 4. 報告事項

##### 1) 理事長報告（奥山理事長）

- (1) 日本医学会からの通信文「2022年度日本医学会新規加盟学会について」を受領した。
- (2) 日本災害医学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (3) 日本外科学会からの通信文「定期学術集会開催日程のお知らせとお願い」を受領した。
- (4) 日本リウマチ学会からの通信文「理事長退任・就任の挨拶」を受領した。
- (5) 日本呼吸器外科学会からの通信文「一般社団法人移行のお知らせ」を受領した。
- (6) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.197」を受領した。
- (7) NPO 法人子ども療養支援協会からの寄贈本「子ども療養支援協会 10周年記念誌」を受領した。
- (8) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.399」を受領した。
- (9) 日本専門医機構からの寄贈本「日本専門医制度概報 令和4年(2022年)度版」を受領した。
- (10) 日本小児科医会からの寄贈本「令和3年度#8000 情報収集分析事業報告書」を受領した。
- (11) 医学中央雑誌刊行会からの寄贈本「医学中央雑誌収載誌目録」を受領した。
- (12) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「医療事故調査・支援センター 2022 年年俸」を受領した。
- (13) 日本医学会「未来への提言」作成委員会からの寄贈本「日本医学会創立 120 周年記念事業未来への提言」を受領した。
- (14) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみっく vol44-1」を受領した。
- (15) 日本医師会女性医師センターからの寄贈本「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」を受領した。
- (16) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.400」を受領した。
- (17) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「ニューズレター5月号」を受領した。
- (18) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「2023年度事業計画書」を受領した。
- (19) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.401」を受領した。
- (20) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.198」を受領した。

##### 2) その他

レベスティブ皮下注用 0.95mg の発売について、当学会から要望を出していた経緯もあり、当学会ホームページに掲載することが承認された。

黒田達夫監事、山高篤行監事より、任期満了に当たっての挨拶と総評が述べられた。黒田達夫監事からは、学会繰越金が積みあがっていることに関して、学会員への還元の必要性について述べられた。

新旧合同理事会を欠席する予定の藤野明浩庶務副委員長より、退任の挨拶が述べられた。

### 3) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和5年6月3日（水）12：00～13：00 大阪国際会議場8階 会議室801-802にて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_